

## 業界トピックス

## 【製造業】

- ・この業界を希望する求職者が減っている。東京、横浜の景気が上向いているらしいが、ピンとこない(空調設備工事、太陽光発電設備工事)
- ・異物に対して敏感になっている(弁当製造配達)
- ・長期間の円安が事業に悪い(ポップコーン製造)
- ・以前より求人応募が少ない(板金加工)
- ・受注にばらつきがあり、納期短縮あり(大型機械の部品切削)
- ・中小企業の景気は悪化の状況(光学ガラス部品加工)
- ・製品単価の下落(精密機械器具製造業)
- ・メーカーサイドの設備投資の減少等に大きく左右される。今後、設備投資の底上げに期待したい(受託設計製造等)
- ・受発注の減少、求人の応募人数が少ない(ワイヤーハーネスの製造、販売)
- ・先行きが予測つかない(工業塗装)
- ・じわじわ不況感が出ている(化粧品 ネイルカラーのフタの加工)
- ・人材不足、根気がなく、不満ばかり言い、コミュニケーションが取れない(シャツ、ベアリングケース等)
- ・今期予定されてた大きな物件は、全て来期に回されました。1年以上の延期(大小機械加工)
- ・景気が良好、横並びといわれているが、現実には感じられない。それなのに、役所、国のボーナスが上がっているのは、信じられない(封筒、ハガキ、事務用伝票、チラシ、名刺)
- ・従業員の仕事に対する姿勢、態度が悪化。指導が伝わらない(金属焼付塗装)
- ・中小企業にとって、注文が無いということは、致命的(コンピュータ周辺装置等設計、製造、サービス等)
- ・受注が増えても、こなせなければ結局、売り上げが上がらない。従業員の育成にお金がかかるという状況で、安心した経営していくためにはどうしたよいか悩んでる(ロートアイアンで制作した門扉等)

## 【建設業】

- ・ハローワークに求人出しても反応がない。諸経費、賃金等は毎年少しずつ上がるが、賃金は上がらない
- ・公共施設及び民間企業の設備投資の減少(ポンプ・送風機、販売修理)
- ・個人消費の小売事業で主婦層の消費動向が低迷、高齢化に向かった現状(電気設備点検補修)
- ・かなり不景気(リフォーム)
- ・仕事量が少ない(土木、外構工事)
- ・今期は売上高が良かったが、次期の工事は未定なので、先行きは不安(土木工事業)
- ・12月末までは受注があり、好調だったが、1月以降の受注の見込みがほとんどない状況で不安がある(電気設備工事)
- ・従業員不足(ビル設備のメンテナンス、リニューアル)
- ・民間工事の減少及び受注全額の低下
- ・公共工事(委託)の減少がひどく、「予算がない」の言葉が多い。民間においては好調、物件もある(造園業、土木工事業)
- ・新規取引社への今後期待感有り、反面エアコン取付業の衰退化(設備電気、空調、給排水)
- ・空家対策法が施行された影響が解体工事の見積り、発注が多く感じた。増税後もこのままいけるか不安(建物解体工事、産業廃棄物収集運搬業)

#### 【小売・卸売業】

- ・客数の減少、仕入れ商品の価格高騰(魚介類販売)
- ・後継者不足、問屋メーカーの直売リ(木材、新建材、住器)
- ・業界全体を取巻く環境の変化が悪く、業界が淘汰されると思い、当社が生き残れるか不安(自動車硝子施工販売)
- ・消費心理、警戒心強く、冷え気味、明るいニュースがない(物販販売、不用品買取等)
- ・取引先が増加してるので先に希望が見える(化粧品及び健康食品)
- ・競争激化、受注単価の低下(ガス燃料、リフォーム)
- ・職人不足、材料費高騰(注文住宅、リフォーム、外構工事)
- ・税負担が重い。人件費が高い。景気が良くなったと感じるのに出費は上がる(パン・菓子製造販売)
- ・消費税が原因の不況だと感じる。もっと違う形の税金徴収が必要(住宅設備品の販売及び施工)
- ・高齢者はお金を持っている(医薬品、化粧品、健康食品)
- ・客層が悪い(生活雑貨医薬品)
- ・業界(問屋街)の雰囲気が悪すぎる。どんどん閉店していて跡地には、マンション、コンビニ、飲食店等になっている(婦人服)
- ・1年先の問題であるが、消費10%の導入に関して、消費者の動向を重視(揚げ物、惣菜、焼鳥各種)
- ・不安感のみ(自動車販売)
- ・インターネットによる安売りの影響大(24時間風呂、マイクロバブル発生器)
- ・茶道人口高齢化と若年層の入会減少(茶道具一式小売)
- ・ネット、配送サービスが向上し、来店して下さるお客様が減少(食品、雑貨)
- ・食生活の変化(魚介類小売業)

#### 【飲食・サービス業】

- ・普通の人々が外食しなくなった事やチェーン店の単価競争があげられる。客層の高齢化も原因の一つ。若年層は個人よりチェーン店へ流れる傾向(日本そば)
- ・個人の消費の低さを痛感(お好み焼き、もんじゃ焼きの店)
- ・従業員不足。原材料の値上げ(イタリアンレストラン)
- ・人員不足(中華レストラン)
- ・外国人観光客増加の影響を受け、おおむね好調(宿泊施設)
- ・電気・電子産業の国内回帰を聞くようになり、多忙企業が増加(機械技術、品質保証、労働安全のコンサル他)
- ・雇用が厳しいので、家賃の遅延。古いマンションなので、中国人、フィリピン人が多い(不動産業)
- ・人材不足(不動産業)
- ・取引先は比較的好調であり、当社の出番が減っている(経営コンサルティング)
- ・景気低迷(不動産業)
- ・不況を感じる。消費者が大きく出費しない(イベント、プライダル企画、プロデュース、人材派遣、WEBビジネス)
- ・後半受注減少(インターネット付随事業)
- ・最低賃金の上昇の早さ、上がり幅が多いことが困っている(おそうじ関連、家事代行サービス)
- ・景気が良くない。悪化の道をたどるだけ(クリーニング品の処理等)
- ・最低賃金の上昇分を値上げできず(ビルメンテナンス業)
- ・採用面接が多くなった(社労事務所)
- ・介護保険制度の変更(福祉用具のレンタル、販売)
- ・下請だけでは好景気の感触が得られない(地上調査、モノレール工事)
- ・取引先等の売上状況は好転してる模様(土業)
- ・受発注状況の格差拡大、若年労働者の獲得困難(産業機械の設計製図サービス)
- ・「雇用状況」高齢化に伴い、次の人材確保に難渋してる(総合ビル管理業)
- ・不景気で昨年と同様の数字を維持するのが精一杯(美容業)
- ・マスコミが言うほど変動はない。高齢の確実なお客様が多い(理容業)